

令和3年度 第2回久留米市有線放送運営委員会 議事録

日時	令和4年2月28日（月） 15時30分～16時10分
場所	田主丸保健センター 多目的室1
出席者	大熊委員、古賀委員、二又委員、野上委員 林田委員、上村委員、高橋委員、小西委員、橋本委員 以上9名
欠席者	小林委員、山下委員
事務局	山本支所長、右田次長、橋本主査、木村、広報戦略課（松本補佐）
傍聴者	なし

次第	内 容 等	
1 開会	進行 事務局	1 開会 ・支所長あいさつ ・委員長あいさつ
	進行 委員長	大熊委員長による進行
2 報告事項	事務局	「放送施設の譲渡に関する自治会の意向集約について」〔説明〕
		（質問・意見なし）
	事務局	「有線放送廃止後の情報収集について」〔説明〕
		（質問・意見なし）
3 協議事項	事務局	「有線放送事業の終期について」 〔説明〕
	委員①	各校区の自治会長の多くは任期1年となっていると思う。令和6年度くらいまでは個別に各自治会長へ終期の説明を行ったほうがよいと思うが、事務局はどう考えているのか。 意向集約の結果について、竹野校区はほとんどの自治会が継続するという回答が出ているが、費用等の説明を行い、理解した上での回答になっているのか。
	事務局	毎年、今回の内容を説明することは現時点で考えていない。 竹野校区の自治会へは継続した場合の費用負担等について説明している。各自治会内で協議を行ったものの、現時点で継続しないという判断をしかねたため、一旦継続するという回答を出していると校区まちづくり事務局からは伺っている。
	委員②	以前、校区単位で運営継続するとなると、数百万円以上の費用負担が発生すると説明を受けた。当時、校区単位で運営継続したいという個人的な意見を持っていたが、校区では運営できないという結論になり、後は各自治会で設備の譲渡を受けるかの協議となった。ただし、自治会で運営するとなっても維持管理費や保守点検料に多額の費用が発生するということだったので、各自治会で継続しないと判断されたと思う。 竹野校区の各自治会はその点を理解した上での回答なのか。

事務局	各校区での自治会長連絡会議にて費用負担等について説明を行ってきた。自治会内の意見として放送設備を残したいという意見が多かったのでこのような回答になっているかと思う。先程も申し上げたが、竹野校区の7自治会については、現時点で継続しないという判断をしかねたため、一旦継続するという回答をいただいている状況である。 数百万円の費用負担が発生するというのは校区で運営する場合はシステムを新たに導入する必要があるためである。自治会単位で運営する場合は、継続後の運営費は発生するものの、必要な設備を残すのみで利用可能なため、新たなシステム導入分の費用負担はかからない。そのようなことから、設備を残すことができるかと判断したと推測はできる。
委員長	自治会単位での運営であれば運営費等は発生するものの、校区単位での運営に比べて大きな負担はないということか。
事務局	現在のシステムでは校区から放送できず、校区単位での運営は現在の仕組みを改めなければ利用できないと業者へ確認しているため、その部分で費用が多額に発生する。自治会単位での運営であると、その費用が発生しない。
委員②	防災面（避難等）を考えると、自治会単位では事実上機能しないため、行政側は費用負担を含めて校区単位で運営継続する方法を検討すべきだったのではないか。費用負担が校区単位に比べて少額だから各自治会へ譲渡するというのは安易に考えすぎである。
委員③	竹野校区では、自治会内で協議をきちんとされていたのか。
事務局	各自治会内で協議する場が全て設定されていたのかは把握していないが、竹野校区まちづくり事務局からは各自治会の意向集約状況を伺っている。
委員③	有線放送の廃止後は基本的にインターネットを主に活用していくと思うが、緊急事態の場合の携帯を所有していない世帯への行政情報の伝達方法は、どのように考えているのか。
事務局	現在久留米市では、KBC テレビの「d」ボタンで災害情報等を発信している。各家庭にはテレビを設置しているところが多いかと思うが、特に何も設定せず、リモコンの「d」ボタンから災害情報等を簡単に取得できるようになっている。 また、それ以外でも事前登録は必要であるが、携帯電話やスマートフォンを所有していない世帯等を対象に避難情報等配信サービスを実施している。令和2年6月15日号の広報久留米でお知らせしているが、今後も引き続き案内していきたい。

	委員長	あと2年で事業開始から60年が経つ。合併時に10年を目途に事業の見直しを行うこととなっていたが、できる限り長く利用するべく協議を重ねながら、これまで事業の延長を繰り返してきた。 しかしながら、放送設備も耐用年数をはるかに超え、田主丸地域内で放送が聞こえる地域と聞こえない地域とが目立つようになったため、一定の終期を以って終了させたい。 終期についてはこれまで何度も協議してきているため、委員会として事務局が提示している終期案で承認の結論を出したいが、委員の皆様からご意見はあるだろうか。
	各委員	(意見なし)
	委員長	終期について委員の皆様からご意見がないため、委員会としては提示された終期案で承認の結論を出すこととする。
4 その他	事務局	今回の議事録については、後日、事務局にて作成したものを、委員の皆様全員に送付させていただき、確認後、委員長、議事録署名人のお二人に議事録署名をいただく。 次回の有線放送運営委員会についてだが、例年は第1回目を6月頃に行っている。日時については改めて連絡させていただく。
5 閉会		閉会